

## 唐丹希望基金支援者の皆様



拝啓 薫風の候、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

皆様におかれましては東日本大震災直後からこれまで、当市の唐丹地区の子供たちに対して多大なるご支援を賜りました。被災した住民に寄り添うその友愛の精神に対し、改めて敬意を表し心から感謝を申し上げます。

東日本大震災から6年が経過しました。釜石市は震災によって多くの尊い生命と財産、平安な日常を失ってしまいましたが、皆様からのお力添えをいただきながら、少しずつではありますが、復興に向けて着実に歩みを進めているところです。

このような中、4月には唐丹地区に新しい小中学校の校舎が完成しました。子供たちは新しい環境で勉学に励み、そしてスポーツに取り組んでいるところです。

今年は釜石市制施行80周年の節目を迎える記念すべき年となります。津波災害があるたびに復興してきたこれまでの歴史を振り返りながら、次代を担う子供たちの希望と笑顔があふれるまちの再生を目指し、新しい一步を踏み出してまいります。

私達釜石市民は、震災を機に新しく築かれた皆様との絆を今後の復興への大きな力として、これからも力強く前に進んでいくことをお誓い申し上げます。

結びに、これまでの皆様からのご支援に重ねて感謝を申し上げますとともに、皆様のご多幸とますますのご繁栄を心からお祈り申し上げます。

敬具

平成29年5月22日

釜石市長 野田武則